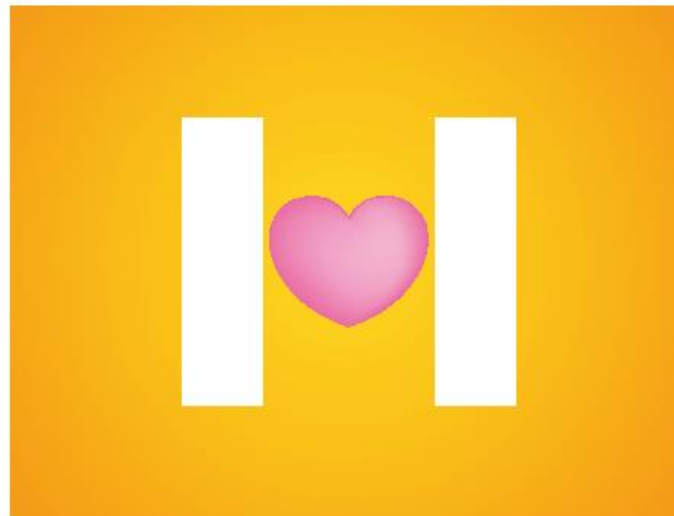


2015年3月期 決算説明資料



Hoosiers Holdings
フージャース ホールディングス

2015.5.19

CONTENTS

1. 業績概要

- 連結損益計算書
- セグメント別売上高
 - 不動産販売事業
 - 不動産管理事業
- 連結貸借対照表
- 仕掛販売用不動産の内訳

2. 2016年3月期 取組み方針

- 事業軸
- 事業ポートフォリオ構成比の推移計画
- マンション事業トピックス
- 事業エリア
- 新規事業に向けた取組み

3. 2016年3月期 業績・配当計画

- 2016年3月期 業績計画
- 2016年3月期 配当計画

2015年3月期 業績概要

連結損益計算書

取扱戸数の増加・取扱価格帯の上昇により売上高増加
原価増により粗利率が低下 → 事業ポートフォリオ転換により改善を図る

百万円

	14/3期		15/3期		前期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	36,943	100.0%	40,033	100.0%	3,090	8.4%
売上総利益	11,093	30.0%	10,102	25.2%	▲ 992	▲ 8.9%
販管費	4,303	11.6%	5,319	13.3%	1,016	23.6%
営業利益	6,790	18.4%	4,782	11.9%	▲ 2,008	▲ 29.6%
経常利益	6,421	17.4%	4,464	11.2%	▲ 1,957	▲ 30.5%
当期純利益	3,856	10.4%	3,079	7.7%	▲ 777	▲ 20.2%

セグメント別売上高 ～不動産販売事業～

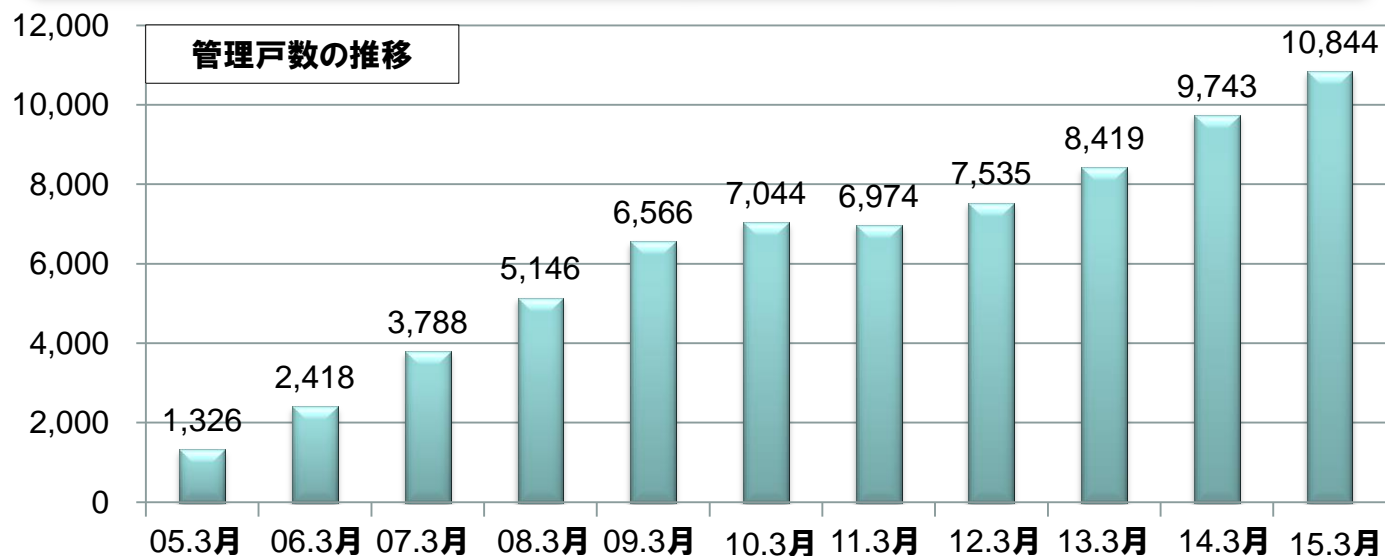
消費増税の影響もなく低金利環境下での堅調な販売環境が継続
AM31のグループ化、固定資産の新規取得により、賃料収入が拡大

		14/3月期	15/3月期	前期比	百万円
マンション	マンション売上	31,823	32,000	176	
	契約数	951 戸	1,328 戸	377 戸	
	引渡数	1,086 戸	1,080 戸	▲6 戸	
戸建	戸建売上	3,150	5,311	2,160	
	契約数	77 戸	122 戸	45 戸	
	引渡数	68 戸	122 戸	54 戸	
その他	販売代理	327	304	▲24	
	賃料収入	299	769	470	
	他	259	444	185	
不動産販売事業合計		35,858	38,828	2,970	

セグメント別売上高 ～不動産管理事業～

安定的に戸数を積み上げ管理戸数は10,000戸を突破
 建築後10年を経過する物件が増加 → 大規模修繕工事の受託を積極化

		14/3月期	15/3月期	前期比	百万円
管理	売上高	831	941	109	
	管理戸数	9,743 戸	10,844 戸	1,101戸	
	他	253	273	20	
不動産管理事業合計		1,084	1,214	130	



連結貸借対照表

総資産残高が626億円まで増加
販売用・仕掛販売用不動産残高が388億円まで増加

		14/3期	15/3期	増減額	百万円
流動資産	現金及び預金	44,759	57,731	12,972	
	販売用不動産	12,476	15,722	3,246	
	仕掛販売用不動産	9,364	11,282	1,918	
	固定資産	20,061	27,587	7,526	
資産合計		3,765	4,899	1,134	
負債	有利子負債合計	48,525	62,631	14,106	
	(短期)有利子負債	28,992	41,111	12,119	
	(長期)有利子負債	22,602	31,584	8,982	
	純資産	6,817	8,808	1,991	
負債純資産合計		15,785	22,776	6,991	
負債純資産合計		19,532	21,519	1,987	
負債純資産合計		48,525	62,631	14,106	

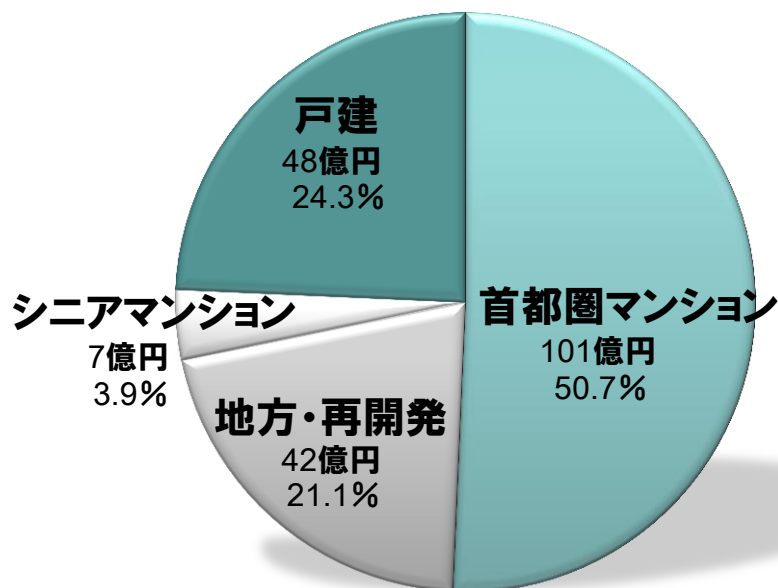
自己資本比率	40.3%	34.4%
D/Eレシオ	1.16倍	1.47倍
一株当たり純資産(円)	618.99	713.40

仕掛販売用不動産の内訳

注力事業である、「**地方・再開発**」「**シニアマンション**」「**戸建**」がバランス良く増加

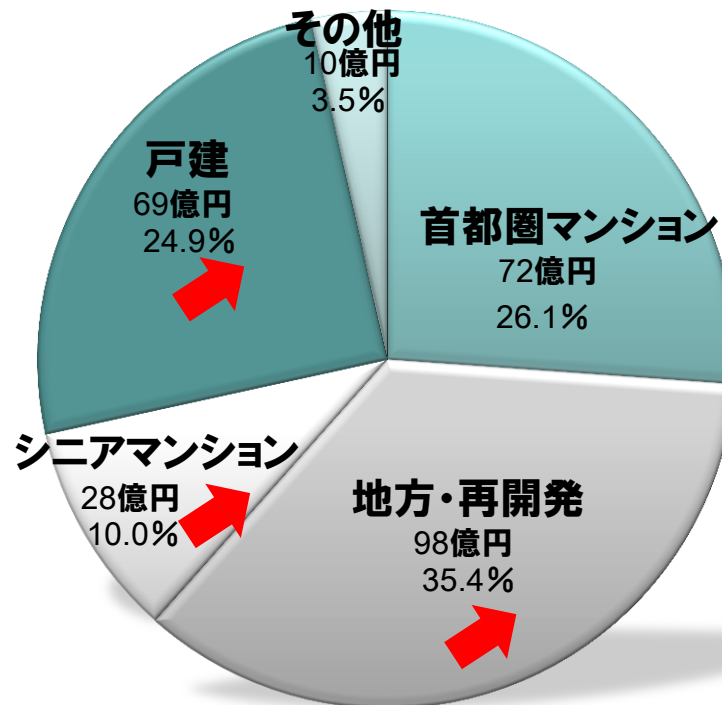
※数値は帳簿価格

2014年3月期



200億円

2015年3月期



276億円

2016年3月期 取組み方針

首都圏マンション事業

地方都市マンション・再開発事業

シニア向け分譲マンション事業

戸建事業

リノベーション・投資事業

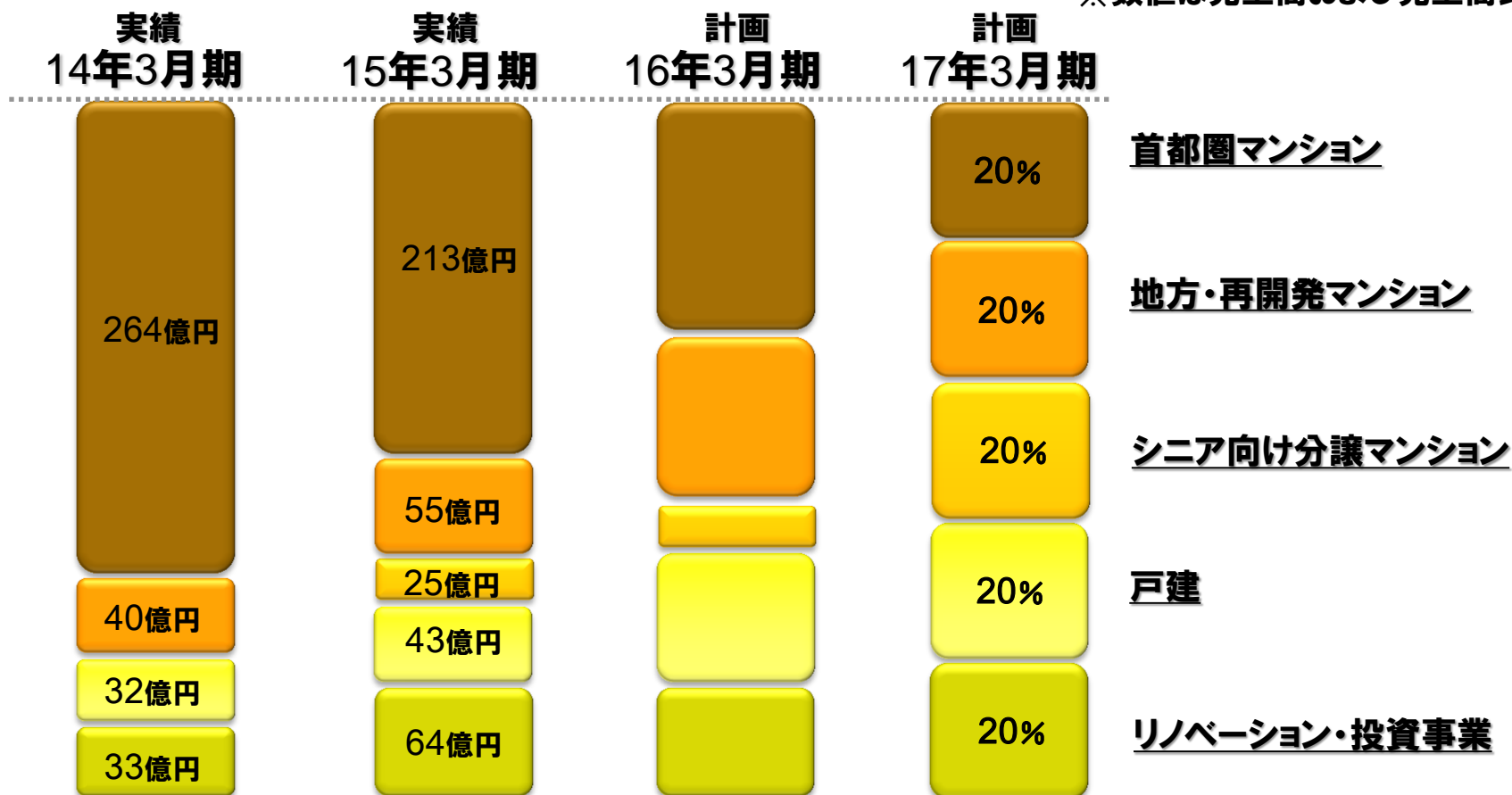
5本の事業軸で、市況に左右されない
安定的な事業基盤を構築

事業ポートフォリオ構成比の推移計画

首都圏マンション 地方・再開発マンション シニア向け分譲マンション 戸建

各事業、売上高比率 **20%** を目指し、安定した収益基盤を構築する

※数値は売上高および売上高比率



大規模マンションプロジェクト始動

デュオヒルズつくばエンブレム

2015年5月から販売開始

2017年3月期 竣工・引渡予定



駅徒歩4分、

免震・大規模 352 邸



TSUKUBA
EMBLEM

究極を、語れるか。

事業エリア

営業拠点の拡大

大阪支店
名古屋営業所

2拠点を新設

西日本エリアへの展開



中国・九州地方での
事業機会を見込む

エリア別物件情報

北海道

- デュオリスタ琴似(32戸)
- 函館MARKS THE TOWER(84戸)
- (仮称)札幌大通西19丁目プロジェクト(36戸)

岩手県

- デュオヒルズ盛岡中央通THE TOWER(110戸)
- デュオヒルズ盛岡加賀野(74戸)

山形県

- (仮称)山形市プロジェクト(予定)

福島県

- デュオヒルズいわきザ・レジデンス(122戸)

石川県

- デュオヒルズ金沢玉川町(72戸)

大阪府

- (仮称)堺市浜寺公園マンションプロジェクト(予定)

愛知県

- (仮称)名古屋八事マンションプロジェクト(予定)

山梨県

- 甲府市再開発事業(予定)

静岡県

- デュオ沼津ビューテラス(29戸)

神奈川県

- デュオヒルズ中央林間(163戸)
- 厚木ワンダーヒルズ(177区画)
- デュオヒルズ横浜北寺尾(118戸)
- パークテラス横浜ベイ(98戸)
- パークヒルズ鷺沼(46戸)
- (仮称)横浜平沼マンションプロジェクト(予定)
- デュオアベニュー愛甲石田(2区画)

千葉県

- パレステージ松戸上本郷(63戸)
- デュオヒルズ志津(183戸)
- デュオアベニュー船橋三咲グローブゲート(52区画)
- (仮称)デュオアベニュー柏の葉キャンパスプロジェクト(予定)
- デュオアベニュー江戸川台(8区画)
- (仮称)デュオアベニュー北国分プロジェクト(予定)

宮城県

- デュオヒルズ仙台ザ・マークス(88戸)
- 石巻テラス(85戸)
- 塩竈市再開発事業(予定)

栃木県

- 宇都宮市再開発事業(予定)

茨城県

- デュオTXみらいヒルズ(132戸)
- デュオセーヌつくばみらい(150戸)
- (仮称)水戸駅前プロジェクト(予定)
- (仮称)つくば吾妻マンションプロジェクト(予定)
- (仮称)つくばみらいマンションプロジェクト(予定)

埼玉県

- ルネ新白岡駅前(124戸)
- デュオヒルズ志木(82戸)
- デュオヒルズ戸田公園リヴァリーゼ(139戸)
- (仮称)デュオアベニュー草加プロジェクト(予定)
- (仮称)デュオアベニュー岩槻プロジェクト(予定)
- (仮称)デュオアベニュー三郷中央プロジェクト(予定)

東京都

- デュオリスタ錦糸町(58戸)
- デュオヒルズ府中多摩川(187戸)
- デュオアベニュー一之江親水公園(15区画)
- (仮称)デュオアベニュー町田緑山プロジェクト(予定)
- (仮称)芝公園マンションプロジェクト(予定)
- デュオアベニュー八王子(62区画)
- (仮称)デュオアベニュー国分寺プロジェクト(予定)
- (仮称)デュオアベニュー立川プロジェクト(予定)
- (仮称)デュオアベニュー高幡不動産プロジェクト(予定)

● マンション ● シニア向けマンション ● リノベーションマンション ● 再開発事業 ● 戸建 ★ 本社 ◆ 支店



新規事業に向けた取組み

PFI事業への参画

2015年4月

株式会社アイ・イー・エーを新設

全国都市

×

PFI事業



自社運営による介護保険事業

2015年4月

リルサーヌ日野旭が丘 開業

高齢者

×

介護保険事業

2016年3月期 業績・配当計画

2016年3月期 業績計画

来期(2017年3月期)に向けた転換期 → 全体取扱戸数が減少
建設コストの増加により収益率は低下

百万円

	15/3期		16/3期		前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	40,033	100.0%	38,000	100.0%	▲ 2,034	▲ 5.1%
営業利益	4,782	11.9%	4,400	11.6%	▲ 383	▲ 8.0%
経常利益	4,464	11.2%	4,000	10.5%	▲ 465	▲ 10.4%
当期純利益	3,079	7.7%	2,600	6.8%	▲ 480	▲ 15.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

2016年3月期 配当計画

1株当たり年間配当金 14円

中間:7円 期末:7円(計画)

※

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
配当金(円)					
(上期)	300.00	800.00	12.00	14.00	14.00
(下期)	(100)	(200)	(6)	(7)	(7)
	(200)	(600)	(6)	(7)	(7)
配当性向[連結]	1.8%	4.5%	9.8%	14.0%	16.2%
EPS[連結](円)	16,992.66	17,663.58	122.21	99.70	86.21

※2013年3月期までは株式会社フージャースコーポレーション株式1株当たりの配当金(取引:1株単位)

2013年4月1日、フージャースコーポレーション普通株式1株につき、フージャースホールディングス普通株式100株を割当交付

1単元100株とする単元株制度を同日より採用しております。

■ IRに関するお問合せ ■

株式会社フージャースホールディングス

広報・IRチーム TEL 03-3287-0704

E-mail ir@hoosiers.co.jp

URL <http://www.hoosiers.co.jp>

本資料に記載されている、意見や予測、今後の見通し等は、当社グループが、資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受け、大きく変動することも考えられます。

従いまして、実際の業績及び戦略等につきましては、この配布資料に記載されている内容とは、大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おき下さい。